

もりや里山新聞

‘25/8/23

【土曜日】

発行

守谷里山ネットワーク

一・守谷里山の山菜

一般の人には楽しむ機会が少ないかもしれませんが、守谷は実は様々な山菜が採れます。

かつての日本の早春は、野菜など多くの農作物がまだ収穫できない季節で、山菜は食卓を賑わす貴重な食材でした。

冬を乗り越えるために蓄えた豊富な栄養分は健康の源であり、山菜採りは春の訪れを感じる楽しい



タケノコ掘り



季節行事でもありました。最近では健康食として改めて見直されてきています。

守谷でも斜面林や畑の周辺にはフキ、タラの芽、ワラビ、コゴミなどが沢山でできます。田んぼや小川周辺の湿地にはセリ、クレンソウ、マコモなど、竹林には最も馴染みのあるタケノコがあります。

ただこれらはほとんどが個人所有の田畑や屋敷林ですので、勝手に入ることは許されません。

里山の会では地主さんの理解と協力です。

子供会などの収穫体験を行っています。ワラビやマコモは畑や田んぼで栽培することも可能です。山菜で



はありますが、せんが、桑の実、ミヨウガなどは季節になると自然収穫出来ます。新芽が多い山菜はあく抜きが必要ですが、多く

いのですが、特別な知識や経験がなくても、ほとんどの山菜は天ぷらにすれば美味しく食べられます。

里山の会では季節になると周辺から採取、持ち寄り、山菜バーベキューなどを楽しんでいます。

最近では輸入食料が増え日常生活には、あまり馴染みがなくなってきましたが、山菜等を賢く利用し季節の変化を感じる生活は日本らしさを感じることでもあります。

目次

1. 守谷里山の山菜
2. 準絶滅危惧種「カワジシャ」移植保全
3. 守谷の里山は田植えの季節
4. 子供会の里山体験
5. 夏休みの里山開放

守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ケ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ

「[守谷の里山](#)」

<http://satoyama.moriya-nature.com/>

守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

二. 準絶滅危惧種「カワ

ジシヤ」移植保全

茨城県の県道利根川架橋（都市軸道路）工事に伴い、環境調査を行ったところ、沿線に準絶滅危惧種の「カワジシヤ」が確認されました。

茨城県の対応として事前に移植することとなり、大野川上流の調整池と隣の立沢里山が環境も類似していることから保全活動に協力することになりました。

四月につくばTX高架下の生殖地から移植し経過観察することになりました。

移植後も他の野草とともに成長していることを確認し、秋になって結実したことから順調に生育しているものと考えられます。

しかし単



移植した「カワジシヤ」



元気にやってきました。森林クラブの皆さん歓迎挨拶を受け、クラス毎に順番で田植えが始まり

年度草であることから、来年は実生発芽するかがポイントとなります。里山の会としても他の野草と区分して見守ることが必要になります。

三. 守谷の里山は田植

えの季節

ア、守谷森林クラブ「古代

米」の田植え

五月八日（木）同地の守谷森林クラブの田んぼで守谷小学校5年生の田植えと自然観察会が行われました。

当日は新緑がまぶしい爽やかな好天にめぐまれ、守谷小学校の5年生、四クラス116名が徒歩で



古代米の田植え

ます。

稲の品種は、まんげつ、古代米の緑米、黒米、赤米と様々な苗です。

田植え体験の後には、森に入って里山の説明を受け、熱心に記入帳に書き込むなど聞き入っていました。

十一時頃には終了し、子供達の感想、森林クラブの挨拶などがありました。無事終了しました。



「となりのトトロ」の歓迎



里山森林探検

イ、立沢里山

「田んぼの学校」

田植えの前の四月二六日は親子有志で代播きが行われました。

皆で元気に田んぼの中を歩き回り、人力の代播き作業です。泥だらけになりながらでも、皆の足踏みの力は強力な効果があり、雑草も見えなくなり、「稲わらトトロ」もご機嫌に見守りました。

続いて五月十五日(木)には、北守谷地区小学校の課外授業である「田んぼの学校」が催されました。

幸い当日は天気も良く、夏日以下の温度で熱中症を心配する必要はありませんでした。

大井沢小学校の五年生児童83名、松前台小学校の五年生児童46名が、田植えに挑戦です。

子供達は、田植えの仕方を学習した後、畦道に立って、しばらくはこわごとと、田んぼの水面を眺めていました。

先生の「さあ、田んぼに入っ



田植えの説明

りと片足を入れます。立沢里山の田んぼは深田で、膝小僧近くまで、ズボツと入るのです。子供達から「キヤー」と悲鳴があがりながら、田んぼの中で一列に並んで、苗を植えていきます。子供達もすぐに慣れて、泥だらけになりながら、にぎやかに田植えを体験しました。楽しそうでした。

田植えが終わって、里山の井戸からポンプで汲み上げた冷たい水で、体についた泥を洗い流しました。

さあ、秋には稲刈りが、待っていますよ。また、立沢里山に来て下さい。



皆で元気に田植え

ウ、高野ドロンコ運動会

五月二十七日(火)午後一時四〇分、大野小学校の四年生25名と大勢の父兄や地元の方々が丸山近くのふれ合い田んぼに集合しました。

地域の皆さんが田んぼだけでなく、テントや洗い場なども事前準備してくれて用意万端です。父兄も大勢で応援にやってきました。

早速五組に分かれてドロンコレーが始まります。

麦わら帽子がバトン代わりで、泥を取られて転びまわり、全身泥だらけになるのは子供だけで



ドロンコレーのスタート

はありません。先生も参加してクラスの子供たちの声援と冷やかしを受けて頑張りました。

元気のよい青年はダイビングする人もいて歓声が上がります。

泥だらけになっても元気に走る子供達に大人も大喜びでした。

ゴール後はドローンが飛んで空から記念撮影です。

最後は地元の方があらかじめ用意してくれた手洗い施設で全身の泥を洗いますが、これまた子供たちは大騒ぎに大喜びでした。



ドローンで集合写真

四、子供の里山体験

大井沢小学区子供会「スマイルシリーズ」の里山体験は当初五月十七日(土)の予定でしたが大雨予報で延期して二四日(土)に実施しました。

オープニングで笹舟を作り皆で小川に流します。

笹舟流しの後は、田

んぼに入って田植えです。小さな子供もいましたが、皆で頑張りました。男子はカエルやタニシを見つけると大騒ぎでした。

一枚の田んぼを皆で立派に植えました。収穫が楽しみです。その後休憩しながら粃すり体験で皆興味津々でした。

たまたま入口の桑の実が食べ頃

で試食し、父兄

も含めてほとん

どの参加者が初

めて食べたよう

で、結構おいし

いと感動してい

ました。

子供会歴

史探訪

六月二十一日(土)は大井沢地区の歴史探訪ウォークが行われました。大円

寺から清龍寺までの徒歩コースです。

大円寺は四季の里の近くで見晴らしの良い丘の上にあり、平安時代の創建と守谷では最も古いお寺で、現在の住職が十数年前に再建



清瀧寺参道の狛犬

整備したとのこと。展などで紹介されました。

彼岸花も写真

阿弥陀如来像の

左手が少し加工さ

れており、当初は

薬師如来で手の平

に薬壺を持つてい

たのではないかと

の珍しいお話を聞

くことができました。

清瀧香取両神社

と清瀧寺は鬼怒川

を挟んで対岸に位

置していますが、

元々は同じ敷地に

あり、江戸時代に鬼怒川を利根川に切り替える際にお寺の真ん中を掘削して分離されたとのことでした。参道の石塔も立派なものでした。

五、夏休みの里山開放

夏休みに入って今年も猛暑が続きます。そんな中で立沢里山では上総掘りの井戸から水をくみ上げプールを作って開放しています。地下水なのでくみ上げた直後の水温は16度程度と冷たくて入るには勇気が必要なほどです。

里山の会が前日にくみ上げてくれていたので、子供達に大好評、早速飛び込んで元気に遊んでいました。



冷水プール

【編集後記】

里山新聞は、守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。

本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。

こちらまで

メール⇒denen21@ktb.biglobe.ne.jp